

Why this color

一色による主観的評価の違いについて

阿部壮 平野琉偉 西絢音 三浦知世 田邊佑梨 入山万優

¹⁾延岡高等学校 Nobeoka High School

Abstract 北海道心理学会発行の研究を参考に、マスクを着用している人に対する印象がそのマスクの色によってどう変化するのか研究を行った。マスク製造会社への質問の回答から、客からのニーズの強い白のマスクを多く世に販売していることと、白いマスクは汚れが目立ちやすいという点で衛生用品としての役割を果たしやすいということがわかった。また、延岡高校生を対象にしたアンケートから男女ともにもっとも話しかけやすい色は白であること、二位以降は女性は暖色系の色、男性は寒色系の色だということがわかった。この結果から、白は優秀であり、男女での差は固定概念によるものだと考えた。

Keyword マスク / カラー / 印象

1. 序論

(1) 研究背景

2020年にコロナの世界的パンデミックが始まってから、我々は日常的にマスクを着けるようになった。北海道心理学会発行の研究(後に詳述)により、白いマスクを着用している人物の魅力と黒いマスクを着用している人物の魅力に対する知覚に差が生まれることが明らかにされている。この研究では白と黒が比較対象にされているが、その他の色と比較した場合に人物の魅力に対する知覚に差が生まれるのか、興味を持ち調査に至った。

(2) 研究の動機

コロナが蔓延してマスクを着ける機会が増えたことから、マスクの色によってどのような顔の主観的評価が得られるのか。(ここでの主観的評価とはその時その人が着けているマスクの色によって見た人が受ける感じ方や受け取り方の事である。)また、現在日本では白のマスクが主流となっている。その理由について研究しようと考えた。

(3) 過去の研究成果

宮崎、伊藤、河原(2019年)の研究によると黒色のマスクの男性着用者に対してネガティブな態度が持たれていた。また顔の魅力に関して、マスクの色が魅力に及ぼす影響は元々の魅力が高い顔に限定的であったものの、白色のマスクに比べて、黒色のマスクを着用した場合のほうが魅力は低い結果となっていた。

これらの結果は黒色が白色に比べてネガティブな印象が持たれやすいこと(Meier et al., 2004) 黒色のマスクに対する慣れ親しみのなさ(zajonc, 2001)が反映されている可能性がある。

(4) 研究仮説

先行研究の結果の、黒のマスクが白マスクよりもネガティブな意見が持たれることや、黒マスクへの親しみの無さがあることより、黒のマスク以外の色と比較しても白のマスクの方がポジティブ(ここでは話しかけやすいと定義する)な意見が得られるのではないかと仮説を立てた。

2. 調査方法

(1) 材料

- ・タブレットorパソコン
- ・アンケート用のQRコードが載った紙

(2) 調査方法

調査としてマスク製造会社のアイリスオーヤマ株式会社、スケーター株式会社、玉川衛材株式会社の3社に対してマスクに関する質問と1・2年の延岡高校在校生にマスクについてのアンケートを行う。

まず、質問ではなぜ白マスクを多く販売しているのか、なぜ白マスク以外の色を販売しているのかをお聞きし、返答からマスクの販売の傾向をまとめる。

次に、アンケートでは延岡高校在校生の1・2年生120人に対して普段つけているマスクの色や女性、男性の同じ画像に違ったマスクの色を着けた画像を見てもらい、印象のいいと思う画像それぞれを回答してもらう。

(3) アンケートの内容

① 各会社への質問

スケーター株式会社、アイリスオーヤマ株式会社、玉川衛材株式会社それぞれ

『会社が白マスクを多く販売している理由』

『会社が白以外のマスクを販売している理由』

を質問する。

② 延岡高校の一、二年生を対象に行ったアンケートの内容

- ・普段つけているマスクの色は？
- ・白以外でつけているマスクの色は？
- ・男性の場合と女性の場合とに分けて、アンケートに添付されている画像(以下記載)を見て、話しかけやすいと思う色はどれか？
- ・その理由はなにか？



(4) 定義

この研究では、マスクを着けている人物の魅力を「話しかけやすさ」と定義してアンケート調査を行っている。上に述べた3社への質問と、延岡高校の1、2年生に対して行ったアンケートの回答の結果をもとに、結論を考察する。

3. 本論

(1) マスク製造会社様からの回答

『会社が白マスクを多く販売している理由』

- ・消費者の受け入れやすさ

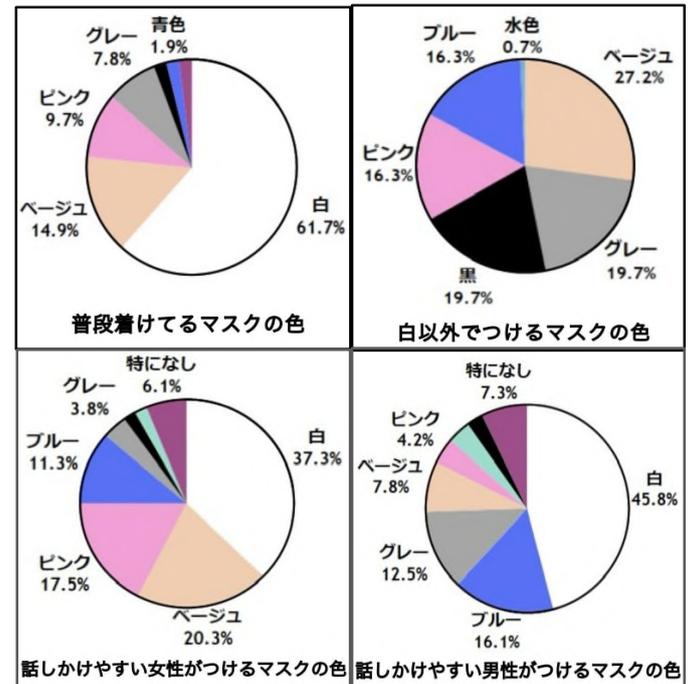
→清潔感がある、汚れが目立ちやすい

『会社が白以外のマスクを販売している理由』

- ・人々(特に女性から)のニーズが高まった

→ピンク、オレンジ等の暖色系は血色のいい顔に見える

(2) アンケートの結果



(3) 考察

アンケートの結果より、最も話しかけられやすいマスクの色は男女共に白であり、2位以降では男性は寒色系の色、女性は暖色系の色が話しかけられやすいという結果になり、この差は男性は青や黒、女性は赤やピンクというような現代社会の固定概念によるものだと考えられる。

また、マスク製造会社様からのご意見から、マスクは衛生用品であるため、汚れが目立ちやすくなるという点でも白が優秀であると考えられる。

4. 課題と展望

今回の研究では、延岡高校の生徒という限られた年齢層を対象に調査を行ったが、今後は小学校や中学校、地域の方々といったより幅広い年齢層を対象に調査を行いたい。

また、女性と男性でポジティブな意見を持たれる色に違いが生まれる理由についても、今後の研究で調査していきたい。

5. 謝辞

今回研究するにあたってご意見をいただきました、スケーター株式会社様、アイリスオーヤマ株式会社様、玉川衛材株式会社様、ご指導、ご鞭撻を賜りましたアドバイザーの上ノ原一道様、宮崎修子先生に感謝を申し上げます。

6. 参考文献

- 1)伊藤資浩、宮崎由樹、河原純一郎(2019):『着用する衛生マスクの色が印象と魅力の知覚に及ぼす影響』-SAGE
 - 2)ソナタ株式会社(2021):『40万個販売！マスク生活の問題を解決するマスクフレームより「ライフマスクサポート 小さめのサイズ」を販売開始！』アットプレス
 - 3)KatoAkihiro(2023):『全32色のマスクカラーをおさらい！お出かけに着けていきたいカラーが見つかるかも』Life style
 - 4)タマケアLab.(2020):『マスクスタイルをおしゃれにアップデート！オン・オフ別のヘアスタイリング方法をプロが提案』タマケアLab.
-